

平成 21年 6月 26日

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城県立友部高等学校 担当教諭名 高浜 義範

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年 6月 4日(木) 13:00 ~ 16:00
対象学年と人数	2・3学年の希望者 21名
派遣講師名と出身国	イスカンダル・スリアント(インドネシア) 朴 美貞(韓国) 田中 アルバ(ニカラグア) ダベッシュクー・ベヘルズ(イラン)
活動の内容	インドネシア・韓国・ニカラグア・イランの4グループから2カ国を選んで、各国の文化・習慣等についての話を聞いた。(1グループ40分) コーディネーター主導で講師を含めた全体会を行い、交流を深めた。
生徒・保護者等参加者の感想	外国のことだけでなく、外国からみた日本も知ることができた。国によってその性格が違うのも知れて良かった。持ち物の多さで幸せが決まる訳ではないとわかった。/日本の特殊さなどがわかった。他国の人たちの暮らしが比較できて楽しかった。/2つの国の文化を学びましたが、国によってそれぞれ違う文化を持っていることが改めてわかりました。また日本と違うところや似てるところがあってとても面白かった。/食べ物似ているようで違うのが意外でした。インドネシアのじゃんけんが面白いと思いました。自分も後でやってみたい。とても楽しいひと時を過ごせました/先生に「様」をつけるなんてびっくりした。なんか環境とか子供の育て方とかまったく違って思いました。(韓国)/この国の遊びやダンスはとても楽しかったです。マイペースで生きているところや、すべてが前向きですごく良い国だった。(ニカラグア)/国の生活とかあまり良いイメージを持っていなかったけど、話を聞いたらすごく良い国だと思った。とても面白い話で楽しかったです。もっと話したかった。(イラン)
先生の感想	直前の欠席者が出てしまい、予定より参加者が少なくなってしまい申し訳なく思っています。にもかかわらず、コーディネーターをはじめ各講師の方々の話は、すべて生徒たちを引き付けるものばかりで、参加者は、皆とても貴重で満足度の高い時間を過ごすことができました。次の機会もよろしくお願ひします。

